1 中世へヒストリップ

天野山金剛寺

河内長野を代表する二大名刹をめぐる

国宝・重要文化財の数が大阪府内で大阪市に次ぐ2位という河内長野市。市域にある7つの国宝を分け合う天野山金剛寺と観心寺は河内長野の歴史散策に欠かせない市民が誇る寺院です。

南北朝から戦国時代まで様々な記憶を残す中世日本の要所

山々に囲まれた谷間に広がる境内には、平安時代末期、和泉国出身の僧侶・阿観上人が復興を目指して建立した建物が点在。後白河天皇の妹・八条女院が帰依し、女性の参拝を受け入れた金剛寺は「女人高野」とも呼ばれ、柔らかい曲線の屋根に、どこか女性らしさを感じてしまいます。南北朝時代に入ると金剛寺は南朝の重要な拠点になり、その歴史から各時代の権力者とも深い関わりを持つようになりました。河内長野の銘酒に名を残す「天野酒」は金剛寺の僧房酒で、これを好んだ豊臣秀吉が発行した朱印状も残っています。

ココがハイライト 美しい金堂

金剛寺に30ある重要文化財のひとつ。鎌倉時代に建立され、国宝の三尊像を祀る建物です。平成大修理で美しく生まれ変わった姿をぜひ!

木造大日如来坐像
国宝・三尊像の中心に位置する仏像。
詳しくはP9へ。

Data

広域マップ：B-2

所在地	天野町996
電話	0721-52-2046
入山料	伽藍は大人200円、小・中学生100円、本坊は大人400円、中学生200円、小学生100円
拝観	9:00〜16:30
休日	無休
アクセス	天野山バス停より徒歩1分

天野山金剛寺を巡るコースはP5でご紹介!

食堂（じきどう）
室町時代に建立されました。南北朝時代に、約6年にわたって後村上天皇が政庁として使用していました。

楼門（ろうもん）
威風堂々と佇む楼門。重要文化財でもある2体の仏像が安置されています。

金剛寺ってこんなお寺

- ●奈良の大仏を造った行基が草創
- ●弘法大師が密教の修行をした聖地
- ●女性の入山が認められた「女人高野」

檜尾山 観心寺

ココがハイライト 山門からの眺め

長い階段の上で、深い森を背にして立つ金堂の姿。下から仰ぎ見る景色は壮観で、山門をくぐる誰もが足を止めて見とれてしまいます。

観心寺金堂（国宝）
詳しくは10ページへ。

建掛塔
楠木正成が三重塔として建築を開始。しかし湊川の合戦で討死したため初層しか造られなかった未完の塔です。

木造如意輪観音坐像
平安時代の密教美術では至高の仏像とも賞賛され、弘法大師自らが刻んだとされる秘仏。毎年4月17・18日のみ御開扉されます。

緑あふれる境内で見どころ満載の歴史散策を

修験道の開祖として知られる役小角（えんのおづぬ）「お大師さん」と親しまれ、観心寺の寺号を定めた弘法大師、鎌倉時代末期に活躍した名将・楠木正成など、全国的にも有名な歴史人物と深い縁のある古刹です。広々とした境内で堂々たる威容を誇る金堂は、そこに祀られる御本尊の木造如意輪観音坐像とともに国宝。さらに書院、訶梨帝母天堂、建掛塔などの重要文化財などもあり見どころは尽きません。また梅や桜、錦の紅葉で彩られる花の寺でもあり、歴史はもちろん、奥河内の四季折々の表情を楽しめるお寺です。

楠木正成の菩提寺でゆかりの建物もたくさん!

Data

広域マップ：D-2

所在地	寺元475
電話	0721-62-2134
入山料	大人300円 小中学生100円
拝観	9:00〜17:00
休日	無休
アクセス	観心寺バス停より徒歩4分

観心寺を巡るコースはP7でご紹介!

観心寺ってこんなお寺

- ●大宝元年（701年）に役小角（えんのおづぬ）が開いた寺院
- ●ここで幼年の頃の楠木正成が仏道を学んだ!
- ●300本もの梅の木が並ぶ梅林は河内長野の早春の名所

Topics

二大名刹の御朱印を拝受しよう!

最近は各寺でオリジナルの御朱印帳も販売され、参拝の証としてお寺ごとに個性のある御朱印をもらうのがお寺好き女子のブームに!? 河内長野の二大名刹、観心寺や金剛寺でもぜひ。

News

9年に及ぶ天野山金剛寺平成大修理が完成!

平成21年度から始まった300年ぶりの金堂の大修理がついに完成し、鮮やかな色彩がよみがえりました。日本の伝統技術の素晴らしさを感じてください。